

2025 ～ 2026 年度国際ロータリーのテーマ

U N I T E F O R G O O D

●会長 堤 勝也
●幹事 草村安宏

 No.1911 令和 07 年 08 月 27 日 第 07 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


よいことの
ために
手を取りあおう

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング

「我らの生業」

(ソングリーダー 宮川義行)

■来訪者紹介

(会長 堤勝也)

卓話者

一般社団法人

一新まちづくりの会

代表理事 橋本和彦 様

ビジター

熊本城東RAC 宮田真二 君

■会長の時間

(会長 堤勝也)

会長になりましたから、早いもので2か月が過ぎました。この間、無事に職務を務めることができましたのも、ひとえに会員の皆様方のお力添えとご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

まだまだ「慣らし運転中」といった段階でございますが、その分、学ぶことも多く、日々新たな気づきを得ながら過ごしております。未熟な点も多々あるかと思いますが、どうか引き続き温かく見守っていただければ幸いです。

さて、本日は橋本様をお迎えしての卓話でございます。地域のまちづくりに長年携わってこられたご経験や思いを伺える、大変貴重な機会であります。私自身も楽しみにしており、きっと会員の皆様にとっても学びの多い時間になることと思います。

それでは、どうぞ最後までよろしく願いいたします。

以上、簡単ではございますが、本日の会長の時間といたします。ありがとうございました。



■幹事報告

(幹事 草村 安宏)

■来信案内

1)

ロータリー囲碁同好会より、秋の「第23回ロータリー全国囲碁大会」の案内。

日時 2025年11月8日(土)

場所 東京・市ヶ谷の日本棋院本院 1階 対局室

主催 ロータリー囲碁同好会

参加料 9,000円(昼食代、賞品代等含む)

2)

熊本中央RCより、第17回熊本中央RCチャリティーゴルフコンペ及び例会・懇親会の案内。

<ゴルフ>

日時 2025年10月31日(金) 午前7時45分開会式
午前8時3分スタート

場所 熊本高遊原カントリークラブ

プレー代 9,300円(セルフ)

参加費 3,000円(チャリティーフィー込)

<姉妹クラブ歓迎例会・懇親会・表彰式>

日時 2025年10月31日(金) 18:30～

場所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

会費 10,000円

3)

泉ヶ丘校区自治協議会 永田俊洋 様より、第31回「伝承遊びの集い」実施についてお知らせ。

開催予定日 2025年10月4日(土) 午前10時～12時

場所 泉ヶ丘校区公民館 泉ヶ丘公園

(雨天：公民館内で実施)

主催 泉ヶ丘校区自治協議会 熊本東南ロータリークラブ

協力 各町内自治会、校区青少年健全育成協議会、校区防犯協会、校区公民館、

子供会、校区老人クラブ連合会、校区民生児童委員協議会、校区各団体

①各町内の子ども会を通じて参加者を募集しているところです。

②指導者会議を9月4日に開催し、顔合わせ、遊びの準備、指導内容についての打ち合わせを行います。

10月4日の開催に向けて、準備を進めております

■クラブより



1)
本日の例会終了後に、第2回臨時理事会を開催いたします。

■今後の地区行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2025 年 9 月 20 日 (土)	大分 01i 01i ロータークラブ 認証状伝達式並びに祝賀会	大分県 大分市	レンブラントホテル	彌富照皇
2025 年 9 月 27 日 (土)	RLI パート1	大分県 大分市	大分市コンパルホール アートホテル大分	案内中

■委員会報告

(社会奉仕担当委員長 宮川義行)
・社会奉仕について報告
8月23日、アクト活動としてアクトクラブのメンバー4名で宮津君の子ども食堂のお手伝いに参加しました。
学生ボランティアと協力し、料理やフルーツの盛り付け、飲み物の提供、食器の片付けなどに取り組みました。



また、9月には遊具を寄贈する予定です。子どもたちからは「助かりました」「ありがとうございます」と感謝の言葉をいただき、改めて奉仕の意義を実感いたしました。

さらに、8月26日のアクト第二例会では、竹内孝夫国際奉仕部門長を講師にお迎えし、「国際奉仕セミナー」が開催されました。テーマは「さあ、国際奉仕を始めよう」であり、台湾・ネパール・中国からの参加者を含め、計20名が参加し、国際的な視点での学びを深める貴重な機会となりました。

次のアクト例会は、9月9日19時30分から開催予定です。

■委員会報告

(会員増強委員長 福井学)
・班分けについて



会員増強班分け案！

班長	片岡 貞志	杉本 聖哉	松田 和成	渡邊俊一郎	出先 敦明	武末 直大
----	-------	-------	-------	-------	-------	-------

委員	鈴木 義規	松本 繁	内田 信行	前田 昭博	瀬谷 愛一	沼田 敬雄
	松本 一也	小堀 成司	横山 佳之	白木 誠一	島村 徹男	志賀 重人
	前田日出夫	井村 宣歌	彌富 照皇	中島 祐爾	堤 啓也	古田 哲郎
	草村 安宏	西田 智史	生駒あさき	緒方 公一	松岡 泰光	宮川 義行
	松元 将家	川崎 直樹	小野川善久	山田 公也	山本 浩之	松尾 浩

福井 学

■委員会報告

(親睦・スマイル担当委員長 片岡貞志)
・家族旅行について



■出席報告

(出席・プログラム担当委員長 渡邊俊一郎)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
8 月 13 日	休会	-	-	-	-
8 月 27 日	38 (免 2) 36	28 (ZOOM2)	-	-	77.78

☆出席免除
8月27日
島村徹男 志賀重人

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員
片岡貞志)



◎内田信行 5,000 円
先日、橋本さんと一緒に飲んだ時、宗教の話聞きとても興味が湧き卓話をお願いしてしまい、気持ち良く引き受けていただいた事に感謝してスマイルします。



◎宮川義行 5,000 円
橋本様の卓話、楽しみにしています。
よろしく願います。
先日の水害の被害は県内、特に八代、天草が酷く、天草にボランティアに行った友人が、熊本地震の時と同じがれきの山だったと言っていました。



市内もいたるところで被害を受けています。西区小島の友人から、床上浸水して困っている、床下に水が溜まって臭くて食事もできない。と言われ急いで駆けつけると、庭先に家財道具が放り出してありました。床下を見ると泥の汚水がたまっていて悪臭がしていました。次の日に、高圧洗浄して吸い上げポンプで溜まった汚水を汲み上げ、床下に潜って残った汚水をかき出し何とか悪臭がなくなりました。床下で寝返りができず何度も体をぶつけ、ああ痩せとけば良かったと1人で後悔しました。
市役所が消毒薬を無料配布すると聞いて連絡すると、床上の消毒薬僅かのみで、床下は個人で業者に頼んでくれと言われたそうです。まだこれからかたづけが残っています。
リンダも市役所裏のお店は諦めて、大津のお店で頑張っていきたいと言っていました。皆さん、応援、宜しくお願いします。

◎松本繁 3,000 円

本日の卓話者 熊本味噌醤油工業組合理事長
橋本和彦様のご来訪を心よりの歓迎と感謝
のスマイルです。



◎山田公也 3,000 円

橋本会長の卓話楽しみにしています。
よろしくお願い申し上げます。



◎片岡貞志 3,000 円

橋本和彦様の卓話を楽しみにしております。
スマイルします。



◎草村安宏 2,000 円

橋本会長、いつも大変お世話になっており
ます。本日の卓話楽しみにしています。
よろしくお願いいたします。



◎中島祐爾 2,000 円

橋本様、本日の卓話楽しみにしています。
また今回、熊本水害にて甚大な被害を受け
られたことに心よりお見舞い申し上げます。



◎西田智史 2,000 円

橋本様のご来訪ありがとうございます。
卓話楽しみにしています。



■卓話

◆「宗教と歴史とパレスチナ問題」
一般社団法人
一新まちづくりの会
代表理事 橋本和彦 様



卓話（抜粋）

最後に、味噌と醤油にまつわるお話を少しさせていただきます。

皆さまも日頃から味噌汁を召し上がっていることと思いますが、
だしの取り方によって塩分量が大きく変わることはご存知でし
ょうか。市販の「本だし」には約 40%もの塩分が含まれており、
熊本県産の味噌の塩分量（約 10%）と比べてもかなり高めです。
そのため、本だしを使用すると自然と味噌の使用量が減り、結
果として「味噌の塩分が高い」と誤解されることも少なくあり
ません。

実際には、味噌よりも本だしに多くの塩分が含まれております
ので、日常の食生活の中ではぜひ注意していただければと思い
ます。

また、10 月 25 日には「味噌天神」の大祭が予定されており、
当日は味噌の無料配布も行われます。皆さまもぜひお立ち寄り
いただければ幸いです。

■点鐘

（編集 松尾 浩）

◆◇ロータリーボイスより

突然のひらめきでつくった冠名基金

～遺産の寄付先に迷っている方にお勧めしたいロータリー財団
寄稿者：石川千佳子（宮崎アカデミーロータリークラブ会員、遺贈友の会会員）

日本人の多くは「亡くなる時が一番お金持ち」といわれます。先行き不透

明な経済状況では老後が心配ですから、ひたすら節約と貯金に努めるのも無理はありません。

そう他人事のように言っているうちに年を拾ってしまい、一昨年には自宅介護中の高齢の母から新型コロナウィルスをプレゼントされてしまいました。老母は三日でケロリと治ったのに、私の方が症状も重く長引くなか、つくづく人生はいつ終わっても不思議ではないと思ひ至ります。ネイティブアメリカンの思想ではありませんが、「今日は死ぬのにうってつけの日」かもしれないのです。

その時、老後のための備えはどこに行くのでしょうか。母亡き後は天涯孤独の身の上。手を打たない限り国庫に入ってしまう。微々たるものであれ、築いた財産の行先は自分で決めたいと思ひ立ち、遺言信託を利用した公正証書遺言づくりに着手したものの、はたと困ったのが寄付先の問題です。はなから「残金は全額寄付」と決めていて、いくつか候補も考えていました。しかし、信託銀行側の「人生 100 年時代なので、少なくとも 30 年後に存在する団体を指名してください」との助言に迷い出します。

そこでひらめいたのがロータリー財団でした。自分の無知と先入観を暴露しますが、ロータリー財団ともなれば億単位の遺贈しか受け付けられないのではない、また英文による文書作成の手続きが必要ではないかと思ひ、初めはまったく想定外だったのです。



折よく通勤列車で乗り合わせた気さくな某パストガバナーにご相談してみると、その日のうちに地区事務所につないでくださり、翌日には膨大な寄付関連の資料が E メール受信箱に入っていました。



しかし、読めども情報量が多すぎて、具体的な手続きが分かりません。これは財団事務局に直接問い合わせた方が早いと思ひメールをお送りすると、即座に拍子抜けするほど簡単な申込書が付いたパンフレットが届きました。遺贈は少額でもよく、また、25,000 ドル以上の場合は寄付先の重点分野を選択して創設できる冠名基金（※）があることを知り、ここぞとばかりにマルをつけて申し込んだ次第です。

それから「Chikako and Kazuko Ishikawa Endowed Found for Basic Education and Literacy」（基本的教育と識字率向上のための石川千佳子・和子基金）の創設までは、国際ロータリー日本事務局財団室長の清水優季さんのきわめて適切なご支援により、あっという間でした。数回のメールのやり取りを挟んで、1 カ月半ほどだったと思います。この基金には、本人のみならず家族や大切な人の名前を冠することができるので、八十路を過ぎても財布の紐をしっかりと握り、遺言のきっかけを作ってくれた老母の名「Kazuko」を加えました。

基金創設には、「メジャードナー顕彰午餐会」へのご招待という嬉しいオマケが付きましました。尻込みする私の背中を押してくれたのは、そもそも宮崎アカデミーロータリークラブとのご縁を結んでくれた勢井由美子会員です。ご一緒に出席するなかで、ロータリー流の国際貢献の在り方を実感することができたことも大きな収穫でした。

そういうわけで、遺贈をお考えの方がいらっしゃれば、今は自信をもってロータリー財団をお勧めいたします。

なお、会費が払えなくなったり、例会をサボったりして退会の勧告を受けたら、この誓約はどうなってしまうのだろうと思ひたところ、クラブを退会しても誓約は有効である旨がしっかり書かれていました。そりゃそうですね（笑）。



2024 年 12 月 13 日（金）に横浜インターコンチネンタルホテルで開かれたメジャードナー顕彰午餐会にて、第 2730 地区のテーブル（AKS 会員、メジャードナー、遺贈友の会）

【寄稿者プロフィール】

石川 千佳子（いしかわ ちかこ）

宮崎大学附属図書館長を務めていたときにアフガニスタン留学生支援の展示を企画したことがきっかけで、2023 年に宮崎アカデミーロータリークラブ入会。宮崎大学教育学部で 38 年間教鞭をとり、現在は放送大学に所属。専門は美学・美術史。日本の芸術論とその海外受容に関する研究、地域の文化財調査に従事する傍ら、AICA（国際美術評論家連盟）会員・美術評論家として活動を続けている。

（※ロータリー財団職員より注）恒久基金へのご寄付 25,000 ドル以上でお好きな名前を付けた基金（冠名基金）を設立でき、個別に管理されます。ご寄付いただく前に、冠名基金設立同意書の締結をします。また、10,000 ドル以上のご誓約で「遺贈友の会会員」となります。遺贈のご寄付は原則、「恒久基金」となります。「年次基金」が今日の活動を支える一方、「恒久基金」へのご寄付は、未来において持続可能なプロジェクトを実施するために必要な財源となります。恒久基金は投資され、元金が支出されることなく、利用可能な収益の一部が毎年、ロータリー財団プログラムを支える活動資金となります。重点分野（平和構築と紛争予防、水と衛生、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、母子の健康、疾病予防と治療、環境）のいずれか、シェア（利用可能な収益の 50% が地区活動資金となります）、ロータリー平和センタープログラムを指定できるほか、管理委員会に用途を委ねることも可能です。